

現代の市場と企業

- [1] 売ることを目的として生産される商品を、2種類にわけて答えなさい。なお資本主義経済では、労働力も商品として売買する。
- [2] 人間の生活に役にたつ品物で、具体的な形をもっており売買の対象になる品物を何というか。
- [3] 医療・娯楽・修理・教育など、具体的な形をもたないけれども、人間の生活に役だつはたらきをするものを何というか。
- [4] 工場の機械・設備・原料など、ものをつくるために使われる財を何というか。
- [5] 財は消費財と生産財とに分けられる。家庭電化製品や住宅・車など、耐久性のある消費財を何という
- [6] 経済活動を営むものを経済主体という。この経済主体を大きく三つのグループに分けた時、それぞれ何というか。
- [7] 主として消費活動をおこなう経済主体を何というか。この経済主体は、労働力・資本・土地などを企業に提供し、賃金・利子・地代などをえている。
- [8] 主として生産活動をおこなう経済主体を何というか。この経済主体は、経営者と労働者から構成されており、利潤の追求を目的としている。
- [9] 消費活動と生産活動を調整し、経済の安定と成長をはかろうとする経済主体を何というか。
- [10] 不特定多数の人びとが利用する財やサービスのことを何というか。政府によって供給される、道路や公園、国防、警察、司法、消防など。
- [11] ものが生産されると、生産にたずさわった人に分配がなされ、分配されたお金を使って消費がおこなわれる。こうした、生産・分配・消費・生産のくりかえしを何というか。
- [12] 企業は利潤をふやすために、投資をおこない、生産活動の規模を大きくして、生産をくりかえそうとする。こうした生産のやり方を何というか。
- [13] 生産活動に必要な要素を三つ答えなさい。
- [14] 生産のためには労働力と生産手段とが必要である。生産手段の中で、機械や工場などのことを何とい
- [15] 商品・労働力・資金・外国為替などが、売り手(供給)と買い手(需要)とのあいだで、取り引きされる場のことを何というか。
- [16] 資本主義経済は、一国全体としては無計画的に生産がなされているので、商品の過不足が生じやすい。それを調整して、過不足なく生産させる役割をはたしているのは何か。
- [17] 売り手(供給)と買い手(需要)との関係、すなわち需給関係で決定される価格を何というか。市場で実際に取り引きされる価格のこと。
- [18] 価格が高くなれば購入量をへらし、安くなれば購入量をふやそうとする、この買い手の行動を示す曲線を何というか。
- [19] 価格が高くなれば売りに出す量をふやし、安くなればへらそうとする、この売り手の行動を示す曲線を何というか。
- [20] 市場価格が上昇するのは、どのような場合か二つ答えなさい。
- [21] 市場価格が下落するのは、どのような場合か二つ答えなさい。
- [22] 需要の変化に応じて供給を調節すれば、価格は安定する。供給の調節が容易で、比較的価格が安定しているのは、どのような商品か。
- [23] 供給の調節がむずかしく、そのため価格が不安定となる商品には、どのようなものがあるか二つ答えな
- [24] 価格(市場価格)が上がったり下がったりすることによって、需要量と供給量はひとりで調節されて、つりあうようになる。この働きのことを何というか。
- [25] 価格の自動調節機能がはたらくためには、どのような前提条件が必要か。
- [26] 価格の自動調節機能のことを、アダム＝スミスは何とよんだか。
- [27] 価格の自動調節機能がはたらくと、社会の必要度に応じて、生産に必要な労働力や原材料などが配分されることにつながる。この必要度に応じた配分のことを何というか。
- [28] 市場で自由な競争がおこなわれていると、競争をつうじて価格と数量が動き、市場をつうじて需要量と供給量の不一致が解消される。このようなしくみを何というか。
- [29] 市場をつうじての需給調整が十分できないことを何というか。たとえば、市場の寡占化によって価格の自動調節機能がうまくはたらかないこと。
- [30] 市場の失敗(市場機構の限界)を補うために活動している経済主体は何か。
- [31] 国民生活に密着した商品やサービスの価格は、政府や地方自治体が関与して決定している。こうした価格のことを何というか。
- [32] 商品の生産費に平均利潤を加えた価格を何というか。市場価格は、この価格を中心に変動し、長期的にはこの価格に近づく。
- [33] 競争がなされていれば、どのような商品を生産しても、だいたい同じような率で利潤がえられる。この利潤のことを何というか。生産者の生活をまかなうのに必要な利潤。
- [34] 生産費のおもなものうち、原材料費以外に二つ答えなさい。
- [35] 商品を生産することによって、少しずつ機械・設備がすりへっていく。このすりへった部分にあてる費用のことを何というか。
- [36] 市場価格と生産価格との差を何というか。市場価格 > 生産価格。企業はこの差を大きくしようとして、生産価格の引き下げ、すなわち生産費引き下げの努力をしている。

- [37] 株式を売るという形で、多数の呼びとから資本金を集めて企業活動をしている、現代の代表的な企業形態を何というか。
- [38] 株主は、株式会社の債務(借金)について、自分の出資額の範囲内でしか責任を負わない。このような責任のことを何というか。
- [39] 株式会社の出資者(株主)は、資本家であり経営者である、という単純な関係はこんにちでは成立しない。一般株主は経営に参加していない状況をさして何というか。
- [40] こんにちの大企業では、個人株主の占める割合が低下し、銀行や保険会社などが株を所有する割合が増大している。こうした株主のことを何というか。
- [41] こんにちの大企業では、個人株主の占める割合が低下し、法人株主の占める割合が増大している。法人株主とは、具体的に何をさすのか二つ答えなさい。
- [42] 企業の資本金のうち、株式や積立金・社内留保などの分を何というか。
- [43] 企業の資本金のうち、社債や借入金などの分を何というか。
- [44] 主力銀行を同じくし、株式の相互もちあいや役員の相互派遣などをつうじて、グループ化した企業の集まりを何というか。寡占体制を強めるためのもの。
- [45] 日本の企業集団のなかでも、とくに大きな企業集団六つをさして六大企業集団という。三井・三菱・住友グループ以外に三つ答えなさい。
- [46] 本来の業種と関係のない、さまざまな企業を吸収・合併・買収し、複数の産業・業種にまたがって多角的に企業活動をおこなう、巨大企業を何というか。
- [47] 他企業を合併・買収することによって、企業規模を拡大することを何というか。
- [48] 企業の合併・買収のことを略号で何というか。こんにちでは、自分の会社でおこなえない経営の多角化や、事業の海外展開などを効率よくおこなう手段として用いられる。
- [49] M&Aの日本語訳名は何か。
- [50] 世界各国に子会社や系列会社をもち、世界的な規模で活動する企業のことを何というか。本社を軸に、総企業利潤を最大にすることをめざしている。
- [51] 企業が大きくなると、大規模生産が可能となり、生産費と価格は低下する傾向になる。このことを何とい
- [52] 一つの産業の市場が少数の企業によって支配されていることを何というか。こんにちでは工業製品の市場の多くでみられる。広い意味で、独占にふくまれる。
- [53] 寡占市場では、自由競争が後退し、価格の自動調節機能が十分はたらかなくなる。その結果どのようなことがおこるか。
- [54] 寡占市場でみられる価格は、需給関係だけで決まるのではなく、市場支配力をもつ企業がプライスリーダーとなって、価格を決定する。この価格のことを何というか。
- [55] 管理価格や独占価格のもとでは、生産コストが下がっても、価格は一般に下がりにくくなっている。このことを何というか。
- [56] ある企業の製品が、その製品市場のなかで、どのくらいの割合を占めているかを示す率を何というか。市場支配力の大きさを示す。
- [57] 寡占市場で多くみられる競争を何というか。品質・サービス・広告など、価格以外の面での競争。市場占有率の拡大をめざしておこなわれる。
- [58] 1947(昭和22)年、大企業による市場支配(独占・寡占)の弊害を是正し、消費者を守るために制定された法律を何というか。
- [59] 独占禁止法の目的を達するために設けられた行政委員会を何というか。この委員会は内閣総理大臣の所轄に属する。
- [60] 企業は市場支配力を強めるために、いろいろな企業結合をおこなおうとする。典型的な企業結合の例を三つ答えなさい。
- [61] 同一産業の企業が、価格や生産量などについて協定を結び、競争をさけて利潤を確保しようとするものを何というか。
- [62] 同一産業の企業合併を何というか。競争を実質的に制限することにつながる企業合併は、独占禁止法で禁止されている。
- [63] 複数の産業にまたがって、株式の取得や資金貸付など、金融面から企業連携をはかるものを何というか。戦前の日本の財閥はこれにあたる。
- [64] 独占禁止法はカルテルを原則として禁止しているが、例外的に認めるカルテルがある。どのようなカルテルか、二つ答えなさい。
- [65] 独占禁止法は、株式を所有することにより、会社の事業活動を支配することを主たる事業とする会社の設立を禁止してきた。こうした会社を何というか。なお1997年の改正で、こうした会社の設立が原則自由と
- [66] 生産者が、卸売価格や小売価格を決めてこれを守らせる制度を何というか。独占禁止法は、公正取引委員会がとくに認める商品以外は、これを禁止している。

現代の市場と企業 [模範解答]

- [1] 財とサービス
[2] 財
[3] サービス
[4] 生産財
[5] 耐久消費財

- [6] 家計・企業・政府
- [7] 家計
- [8] 企業
- [9] 政府
- [10] 公共財
- [11] 経済循環
- [12] 拡大再生産
- [13] 労働力・資本・土地
- [14] 労働手段
- [15] 市場
- [16] 価格
- [17] 市場価格
- [18] 需要曲線
- [19] 供給曲線
- [20] 需要の増大 供給の減少
- [21] 供給の増大 需要の減少
- [22] 工業製品
- [23] 農産物 水産物
- [24] 価格の自動調節(調整)機能(プライス＝メカニズム)
- [25] 自由競争
- [26] 神の見えざる手
- [27] 資源の適正配分
- [28] 市場機構
- [29] 市場の失敗
- [30] 政府
- [31] 公共料金
- [32] 生産価格
- [33] 平均利潤
- [34] 人件費(賃金), 減価償却費
- [35] 減価償却費
- [36] 超過利潤
- [37] 株式会社
- [38] 有限責任
- [39] 所有と経営の分離
- [40] 法人株主
- [41] 銀行 関連会社
- [42] 自己資本
- [43] 他人資本
- [44] 企業集団
- [45] 芙蓉・三和・第一勧銀グループ
- [46] コングロマリット
- [47] 資本の集中
- [48] M&A
- [49] 合併・買収
- [50] 多国籍企業
- [51] 規模の経済
- [52] 寡占
- [53] 需給の不一致が解消されにくくなる
- [54] 管理価格
- [55] 価格の下方硬直性
- [56] 市場占有率
- [57] 非価格競争
- [58] 独占禁止法
- [59] 公正取引委員会
- [60] カルテル・トラスト・コンツェルン
- [61] カルテル
- [62] トラスト
- [63] コンツェルン
- [64] 合理化カルテル 不況カルテル
- [65] 持株会社
- [66] 再販売価格維持制度